

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年10月7日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672400068
法人名	株式会社 九州保健医療
事業所名	グループホームおおうら
所在地	鹿児島県南さつま市大浦町8232 (電話)
自己評価作成日	平成28年9月11日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成28年9月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設の敷地が広く、静かでゆったりとした時間が流れている。山や海に囲まれ自然豊かな地域であり、季節の移り変わりを肌で感じることもできる。ケアとしては「個別ケア」や「利用者様の生きがいつくり」に力を入れており、利用者様の「できる事探し」や「利用者様個人個人がやりたい事」を探しながらそれぞれに役割を持っていただいたき「家も良いけど、ここ(施設)にいるのはもっと良い」と生きがいを感じていただけるように努めている。また、何もかも手助けし過ぎずに「介護」というのではなく、「支援」をするようにと職員一丸となり取り組んでいる。利用者様と職員が一對一でゆっくりとコミュニケーションをとる時間を大切にしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設より12年が経過した当ホームは、2ユニットで運営されており。地域の一員としての位置付けを築きあげている。雑踏を逃れた自然豊かな地に建てられており、広い敷地には菜園コーナーも設けられている。近隣住民の手を借り、利用者も共に季節の野菜の植え付けから収穫までを楽しんでいる。

行政と連携を図り、管理者は地域の老人クラブや南薩摩市主催の認知症講座の講師として出向いている。ホームではよろず相談を受け付けるなど地域への貢献度も高い。

個別ケアを重視しており、利用者はそれぞれが出来る事、やりたい事を見出し、周りに合わせることなく好みの役割を担当し、生き甲斐を持ち生活をしている。この「出来る事探し」と銘打った職員の取り組みが成果を上げてきている。

職員は年代やキャリアの層も幅広く、2ユニット間で利用者情報を共有し、配置転換やシフトの変動など随時、対応できる体制を敷き連携を図っている。

職員と管理者は、ホーム外での生活支援の幅を広める事や、家庭生活に近づける様に個別の生活リズムを重視し、更に充実した支援を目指しており、全員で一丸となり、サービス向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスを理念に掲げ、朝礼 申し送りで言葉の意味を理解しながら復唱して実践出来るよう心掛けている	法人の運営理念を根幹に2ユニット各々に職員で話し合った介護理念を掲げている。カンファレンスで都度、ケアの内容を振り返り、掲示や唱和にとどまる事無く、理念の真の意味を理解し実践に繋げる様に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のイベント、行事に参加したり、施設のイベントにも地域の方々を招待している。保育園児が遊びに来たり、高校生の実習などの受け入れを行っている	地域の情報収集の機会も多く、年間を通じた地域行事への参加も恒例である。災害時の協力体制や日常の交流など地域住民の支えも得ている。ホームを散歩コースにしている保育園児との触れ合いは利用者の楽しみである。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	イベント等で直接利用者と触れ合ってもらい認知症について理解を得られるように努めている市からの要請で老人クラブでの認知症について講演会を行っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回行い、地域、医療、家族、行政を交えて意見交換を行いサービスの向上に繋げている。	地域への認知症啓発を取り上げ、行政と連携して認知症の講座を開き、管理者は講師を努めている。火災時の風向きを考慮し避難口にチャッターを取り付けるなど参加者のアイデアを、サービス向上に繋げている。他のグループホームの会議にも出向き双方で情報交換を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営やサービスに関して行政との連携を取り情報を交換して指導や助言を頂いたりしながら協力関係を築くようにしている	運営推進会議への参加もあり、ホームの現状への理解は得られている。相談事や連絡事項など殆どがメールでの送受信であるが、良好な関係を築いている。管理者は市主催の認知症啓発の講座の講師も務める。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体的拘束とは」について研修会、カンファレンスを通して勉強する機会を持ち玄関の施錠を含めて正しく理解するようにしてケアにとりくんでいる。	2ユニット合同の全体会議で勉強会を行っており、管理者は現場での気付きは都度、注意を促し、職員の身体拘束の弊害についての意識や知識の向上につながる努力をしている。利用者個々の心身の状態変化を密に観察し、職員間の見守りと連携で抑圧のない自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	認知症の事が理解できていないと虐待に繋がる事があると考えられるので認知症の理解と虐待防止について定期的に勉強会で学ぶ機会を設けており、虐待防止、虐待を見逃すことのないように努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を通して学ぶ機会を設けており、制度を利用している利用者もおられ、活用できるように支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、時間をかけ説明して不安や疑問などないか尋ね、ご家族が理解したうえで契約している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議等で意見要望を聞き入れ、玄関には、要望箱を用意して活用している。利用者の意見要望については、日々の生活の中でくみ取るようにしている</p>	<p>遠方の家族も多く、定期通信の他、電話での近況報告も行っている。面会時の聞き取りや、無記名式の返信用アンケートを送付するなど、家族の立場に配慮しながら、意見要望が出し易い工夫をしている。出された意見要望は、改善へつなげている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>申し送りやカンファレンスの時意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>2ユニット間での情報共有が密であり、シフト変更や配置転換がスムーズな体制を敷いている。現場の問題点などはミーティング時に取り上げ全員で話し合っている。管理者は職場の人間関係などケア以外にもメンタル面でのサポートにも力を入れて働きやすい環境作りに努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員の実績や勤務状況を代表者も把握しており、又個々の条件などに合わせて働きやすい職場作りに努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>2カ月に1回は職員全体研修を開き、職員のレベルアップを図っている。又外部の研修にも参加できるように職員に情報を提供している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者がグループホーム協議会へ参加しており、意見交換を行っている。又、相互に運営推進会議の参加をするなどして交流を図っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前から訪問をしたり、家族とともにホームを見学して頂いたり、ゆっくり話す時間を持つようにしている。本人とも、会話をしていること、不安なことはないか聞いている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居申し込み時やサービス利用時には困っていることや要望などを聞いて関係づくりに努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>肩・腰痛のある方で、主治医の指示や希望に合わせて電気治療を週に2回通院するなど対応している</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の方と食事の準備や掃除、畑など一緒に行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	外泊や、病院受診で家族と一緒に食事をされたり、グループホームのイベントに家族が参加して下さっている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所のスーパーと一緒に買い物をしたり、ご家族が墓参りに連れて行って下さったりしている	入居者同士が幼馴染の利用者も居る。家族と墓参りに出かけたり、お寺参りや病院受診の際、知り合いに会って会話を交わす機会がある。地域の敬老会に参加したり、遠方の親族との葉書や電話の交流も続いており、馴染み関係が保たれている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	必要に応じて、職員が間に入りながら利用者同士が良い関係を築いて行ける様に支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去の際に、声をかけ再度、申し込みをされる方や相談される方もいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	1人ひとりに合わせた生活をして頂く為に本人の生活歴や言動等をもとに思いや意向をくみとるようにしている	意志の伝達可能な利用者が殆どであり、職員は「やりたい事探し」をケアに取り入れ、利用者個々の出来る事、やりたい事を引出している。利用者は好みの役割を持ち、生き甲斐のある生活を送っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報や会話の中で情報を聞きながらこれまでの、暮らしの把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	支援経過記録やカンファレンスでアセスメントをする等して、職員間での情報共有に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	支援経過記録やカンファレンスでアセスメントをする等して、職員間での情報共有に努めている	利用者からは日頃のケアの中で直接ニーズを聞きとり、個々の暮らしぶりや思いに沿ったケアプランの作成に努めている。やりたい事や出来る事を最大限に引き出し、担当職員のモニタリングを共有し、全員でカンファレンスを行いプランに反映している。今後は、家族への十分な説明と具体的な要望等の聞き取りを工夫する意向である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿って支援経過や業務日報に日々の様子を記入しており、実践や介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	主治医はいるが、その人の必要に応じた病院受診を行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察や消防、地域の方と連携をとり、利用者が安全に生活できるように努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際に説明してかかりつけ病院との契約を交わしてもらっているが、他科受診が必要な時は家族に確認をして受診を行っている	入居時にホームの協力医療機関への移行に同意を得ている。月2回の訪問診療と随時の往診で主治医と密な情報共有が出来ており、緊急時も適切な指示を仰げる環境にある。他科受診は家族とホームで柔軟に対応している。状態変化は都度、家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ病院の看護師へ気づいた事は連絡、相談を行っており連携をとっている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院の際は、病院と情報交換を行っており利用者の状態にあわせて退院もスムーズに行えている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居の際に重度化した場合について説明を行っており、又入院が長期化になった時にも今後について話をし、必要に応じて病院の相談員などとも連携を取っている</p>	<p>過去に老衰による看取りの経験をしているが、ホームの方針としては介護度により、特別養護老人ホームや医療機関への申し込みを案内している。入居時にホームで出来る最大限の支援内容を説明し、家族と同意書を交わしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修会などで、対処法など定期的に行っており、又事務所内に対処方法を掲示して緊急時に対応できるようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>利用者と全職員で年2回避難訓練を行っている。地域の方々も参加して下さると協力体制は整えているがまだ実現に至っていない。緊急対応マニュアルも作成している</p>	<p>地域の消防団や近隣住民の参加を得て年2回、昼夜間想定避難訓練を行っている。内部構造や避難経路の確認、各役割分担まで決め協力体制を整えている。地区の分遣隊に夜間帯の避難に関する疑問を一問一答式で得ており、訓練に活かしている。ホーム外の近隣からの出火も想定に入れている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄の失敗の時などさりげなく対応しプライバシーを損ねないように気を付けている	管理者は職員の何気ない言葉使いや馴れ合いの関係性など常時、注意を払い、気付きは都度、指摘し改善に生かしている。人格の尊重やプライバシーの確保はケアの中でも特に重視しており定期的に研修も行い意識付けを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者とのコミュニケーションを深め、言いやすい関係を作るようにしている。本人が自己決定できること、衣類の選択などは本人にしてもらうように心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人ひとりのペースに合わせて声かけしており、利用者様の動きや希望があればその都度対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服など、出来る限り自分で選んでもらっている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の方といっしょに、野菜の皮むき、盛り付け等エプロンもつけて手伝ってもらっている食器洗いも横に並んでしている	献立は職員全員でアイデアを出し合い決めている。料理好きの利用者は、下ごしらえから煮炊き、食器洗いの一連の作業を生き生きと行っている。誕生日は希望の特別食を提供し全員で祝っている。菜園の収穫物がテーブルに並ぶこともあり季節感を味わっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量のチェックを行っており、一人一人に合わせた形態で食事提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声かけし口腔ケアして頂いており、必要に応じて介助や見守りを行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	失敗のない様に、トイレの間隔を見ながら声かけ誘導している	布パンツとパット使用の組み合わせが多く、オムツ使用の利用者はおらずトイレでの自立に向けた排泄支援を行っている。自立の利用者をはじめ、職員の適時の誘導と介助で失敗を減らし、利用者は尊厳と自信を保持した生活を送っている、	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分や食事の工夫と運動を行っている。排便チェックをして個々に合わせて主治医の指示の元、薬の調整等行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	自ら希望して入りたい方が少なく、入浴にお誘いするが体調に合わせて無理強いせず、気持ちよく入って頂ける様声かけ、支援している	毎日、午後からの時間を設定している。一番風呂希望の利用者が重なった場合はくじ引きにするなど公平に対応している。ゆずや菖蒲などを入れ季節感を出し楽しめる工夫をしている。1対1でのリラックスした会話から利用者の思いを引き出す機会も多くある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自ら昼寝をしたり、体調に合わせて声かけし、居室で休んで頂くなど個々に合わせて支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の情報をいつでも閲覧できるようにしており薬の変更時も申し送り情報共有している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人ひとりに合わせた役割をもってもらい生きがいを持って生活が送れるように支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物と一緒に出かけたり、家族が、お墓参りなど、連れて行って下さっている	近隣への買い物や海辺のドライブ、季節の花見など、その日の天気や健康状態をみて出かけている。ホーム周辺の散歩は日常的であり外気浴の機会を多く持てるように努力している。介護度が低い利用者が多く、今後は、普段行けないような場所への外出も視野に入れ取り組む意向がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望される方は自分で財布を管理されているが、ほとんどは家族が管理されている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご自分で電話を掛けられる方はいませんが、希望があれば職員が支援している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>壁面には利用者と一緒に季節に合わせた物作りをして飾ったり、季節の花を飾ることで季節感を感じて頂いている</p>	<p>玄関には利用者が生けた季節の花が飾られている。リビングには大型ソファや椅子などを置き、利用者はそれぞれの定位置で、余暇活動や団欒の場としてゆったりと過ごしている。リビングには神棚と仏壇が備えてあり、朝、夕に手を合す利用者も居る。BGMが流れ、穏やかかで清潔な共用空間が保たれている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングとは別に少人数で過ごせる空間を作っており自由に行き来している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた物や写真など持って来て頂いており個々に合わせた空間づくりをしている</p>	<p>全居室に停電時に作動する充電式の電灯を設置し災害時に備えている。愛着のある筆筒や家族写真、プレゼントのぬいぐるみなどを持ち込み個別性を感じ取れるプライベート空間である。ドアや角ばった個所にクッションを張りぶつかった時の衝撃を緩和している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレや風呂場、自室など表札をしており利用者様が自分で行き来しやすい様に工夫している</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない